

メンタルヘルスマネジメント®検定 全社一斉合格パック 発売開始

管理職及び一般社員を守りかつ生産性向上・利益増を得るためのサービスとして全社一斉「メンタルヘルスマネジメント®検定」合格パックの提供を始めました。200名未満企業限定、社内に専任社員を置けない中小企業を支援します。パワハラ法制化の流れがあります。法制化をキッカケに、中小企業の成長の可能性を見出し、企業の繁栄・社員の幸せを願ってのサービス提供です。

キーワード： 特に中小企業は属人的マネジメントが主流 = 混乱 = 損失発生、成長への足かせ
マネジメントの「軸」「共通のモノサシ」を導入、企業内に埋もれた無形の活力を引き出す、
昭和世代と平成世代のギャップ、最も疲弊しているのは管理職

社会背景： 情報過多、誤ったメンタルヘルス対策が横行、疲弊によるイライラ・パワハラが発生・増殖、
業績に悪影響、記録的人材不足、若者の中小企業離れ、若者になめられる過去の価値観を持つ管理職

サービス内容：

メンタルヘルスマネジメント®検定 II種：ラインケア、III種：セルフケア : 全社一斉合格プログラム
(主催：大阪商工会議所、2006年より13年の歴史、既に35万人申込み：添付パンフ参照)

依頼中小企業全社員を合格させることで一定水準以上の正しい知識を全社で共有、共通の「モノサシ」による社員同士・上司部下間でも予防・早期発見による損失回避(利益増)

本サービスの特徴：

II種(ラインケア) 10名程度一組 計4回(4時間ずつ) 研修と実践、期間は7か月

III種(セルフケア) 10名程度一組 計3回(3時間ずつ) 研修と実践、期間は4か月

模擬試験・職場での実践・質疑応答により全員合格レベルの知識を習得、試験は3月と11月@仙台含む全国各都市、社長も受検合格がサービス提供の条件、不合格者には補習を提供し次回受検

サービス提供企業の例：(204名企業)

管理職32名中28名研修受講、全員合格、管理職の疲弊が改善、厳しくも適正な指導へ、損失回避と利益増
休職者(前年度)4名→(今年度)2名、離職者(同)3名→(同)1名 (休職：2,980万円の損失回避)

社長自身「心の安心を得た」、「300名体制へスタートが切れた」

フェーズ2として、III種(セルフケア)を全一般社員167名へ適用予定

こんな企業に人気です：

管理職各々の属人的マネジメントに頼るのは生産性向上に限界を感じている200名未満の社長、

社長自らが全管理職&全社員の顔と名前が一致なくなり、管理職の育成が急務

管理職への権限委譲を増やし、更に300名体制を構築しなければならない

費用概算： 10名程度一組あたり44万円(税込)、対象者決定後最終見積、補習は別途(人数によるため)

販売目標： 2018年度 県内4社へ提供、2020年度には県内43社へ提供する

【お問い合わせ先】

拠点設置先：〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10 仙台北辰ビル

(社)ジョイントベンチャー実践支援機構 代表理事 高橋弘

電話番号：050-6865-3135 / 090-7525-5021 e-mail：hirotaka@omakasestresscheck.jp

どうぞご遠慮なくお問い合わせください。